



1 2022

発行所 大阪市中央区玉造2-24-22 カトリック大阪大司教区 広報委員会 郵便番号 540-0004 TEL (06) 6941-9700(代表) TEL (06) 6946-3223(直通) FAX (06) 6946-3224(直通) E-mail: jho@osaka.catholic.jp 編集 広報委員会 発行人 前田万葉

本紙「点訳版」「音訳」があります。〈無料〉 ※ご希望の場合は下記まで申込み 「点訳版(点字本)」 時報 ☎06-6946-3223(直通) ☎06-6946-3224(直通) 「音訳(テープ・デジ)」 山口さん ☎0798-34-4228

☆ シノドスについて ☆ 堺と紀泉ブロック 堅信式 ☆ 司牧者から若者たちにこの一冊 ☆ ラジオ「信仰の時間」春名昌哉神父 ☆ 聖書 難民移住移務 ☆ 2022年度教区年間予定 ☆ イエスにならう生き方を求めて ☆ ユスト高山石近の生涯と信仰 ☆ カマエの巻 ☆ 圭多 難民移住移務 ☆ 2022年度教区年間予定 ☆ イエスにならう生き方を求めて ☆ ユスト高山石近の生涯と信仰 ☆ カマエの巻 ☆ 圭多 難民移住移務

『時報』原稿・資料等の締切は、前月末です。



会議が開催され、その実りとして最終文書が作られることとなります。おそらく、教皇フランシスコの「使徒的書簡」の形で発表されることになるでしょう。

今年

『愛のよろこび「家庭年」』は困難を抱えた家庭に寄り添い、危機にある夫婦や家族を導き、孤独な人や貧しい家族、分裂した家族を支える機会とするようにと呼びかけています。

「ともに歩む教会」は「きょうどう宣教司牧(※注4)」の完成の方法として「ASIPPA (Asian Integral Pastoral Approach ※注5) (FABC 「アジア司教協議会連盟」で開発され、1992年から実施開始)のセブンスステップ(※注6)を推奨します。三位一体の神様を中心に、家族が、小共同体が「ともに歩む」ことから始めましょう。そのためにも「シノドスのための祈り(※注7)」は欠かせません。

同シノドスのテーマ「交わり、参加、そして宣教(仮)」は、家族、地域、小教区、各委員会、各修道共同体、各宣教師、各宣教師司牧チームなどで、小共同体づくりとともに実行できると思っています。これこそ、教皇フランシスコの回勅『兄弟の皆さん(2020年10月3日発布)』を生きていることであり、全教会のシノドスにつながっていくのではないのでしょうか。

用語解説は2面参照

皆さま、クリスマスと新年のお慶びを申し上げます

去年

2021年もコロナ禍の中、「ラウダート・シ特別年」(2020年5月24日)、「2021年5月24日」や「聖ヨセフの特別年」(2020年12月8日)、「2021年12月8日」を過ごしてまいりました。同時に、2021年3月19日から2022年6月26日まで、「愛のよろこび」家庭年が続いています。また大阪教区としては、11月22日と23日に「日本カトリック正義と平和全国集会2021大阪大会」をオンラインで主催いたしました(大会テーマ「すべてのいのちを守る」)。すべてのいのちのもの

勤労感謝の日 大会に協力して下さったすべての皆さまに心から感謝申し上げます。

そして何よりも2021年10月10日から始まったばかりの「第16回通常シノドス(世界代表司教会議)※注1」(2021年10月10日~2023年10月)における「大阪教区準シノドス」(2021年10月17日開始)の大切な新年となります。

シノダリテイ インマヌエル

神とともに歩む教会

ローマの開幕ミサと各地方(教区)の開始ミサでは、聖霊降臨前夜祭ミサの典礼が使われ、聖母マリアのご絵、ご像、アイコンなどが祭壇まわりに運ばれました。聖霊降臨の日、マリア様を中心に弟子たちが集まって祈りながらその時を待ったように、シノド



スもまさにこの信心を生きていくこととなります。聖霊降臨後の月曜日に「教会の母マリア」が祝われるのもこの信心によるものでしょう。シノドスのロザリオ月の聖霊ミサ



スについて説明し、教区レベルの準備を支援する「マニユアル」の役割も持っています。今回のシノドスのテーマは「ともに歩む」シノドス(※注2)をテーマに開催される第16回通常シノドスの準備文書と手引きが、教皇庁のシノドス事務局から発布されました。

「シノダリテイ(シノダス性)※注2」をテーマに開催される第16回通常シノドスの準備文書と手引きが、教皇庁のシノドス事務局から発布されました。

同シノドスの第1段階は、まず各教区レベルで行われます。各教区のため2022年6月4日まで提出しなければなりません。大阪教区では、特にこの段階の担当者として「新福音化委員会」と委員長のスノ・デ・リマ神父様を任命いたしました。

できるだけ多くの人たちの参画を得るために、前述の準備文書と手引きをもとに、すでに質問票、説明やお願いの文書が皆様のもとに届いているはずですが、ご理解とご協力をお願いいたします。これが大阪教区の「準シノドス」であり、第16回シノドス・世界代表司教会議への具体的参加となります。当初の提出期限が約4か月延びたのは、この第1段階の重要性を認識してのことです。

第2段階では、日本の場合、6月4日までに各教区のアンケートのまとめを、8月15日までに日本司教協議会がまとめてローマに報告します。そして、2022年秋頃に第1回目の討議要綱がローマから出される予定です。これに沿って、各国・大陸の司教協議会連盟による会議が2023年3月までに開かれ、そのまとめが文書としてローマに提出されます。その後、2023年6月頃、ローマから第2回目の討議要綱が発表される予定です。

第3段階は、ローマで行われる普遍教会レベルの集いです。2回目の討議要綱をもとに、各国の司教協議会が最終まとめをして、2023年10月、ローマで世界各国の司教代表による

会議が開催され、その実りとして最終文書が作られることとなります。おそらく、教皇フランシスコの「使徒的書簡」の形で発表されることになるでしょう。